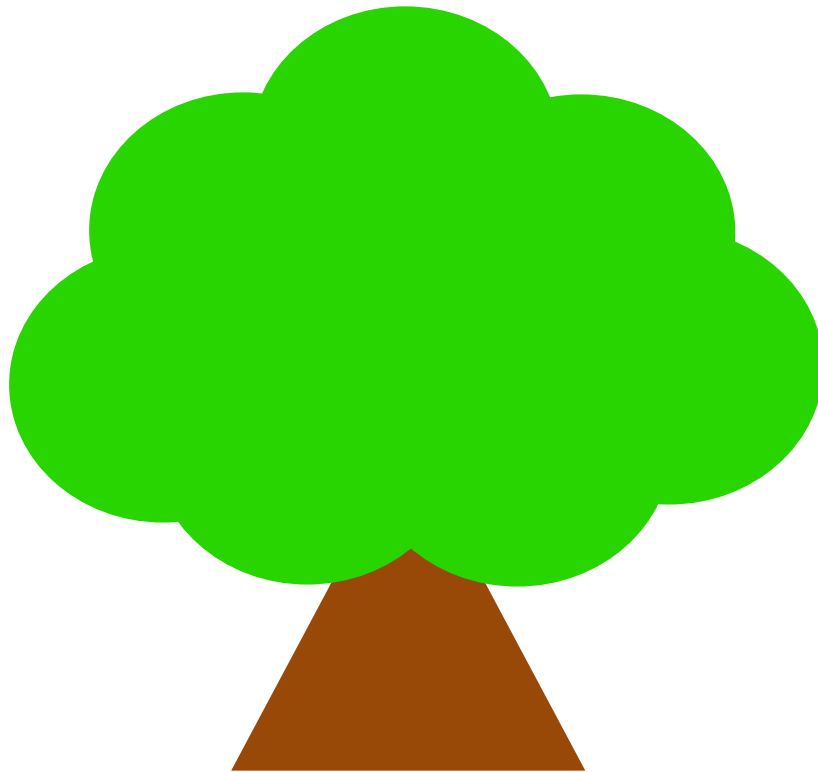


ブックリスト

本で知ろう！ ハンセン病

<小中学生～>



東村山市立図書館
協力：国立ハンセン病資料館

<第3次東村山市子ども読書活動推進計画事業・東村山市「いのちの教育」推進プラン関連事業>

平成30年（2018年）1月改訂

みなさんへ

このブックリストは、ハンセン病について書かれている本を紹介しています。本を通してハンセン病のことを知り、「人権」や「いのちの大切さ」について考えるきっかけになることを願ってつくりました。ぜひ、読んでみてください。

- ❖ 東村山市青葉町には、ハンセン病療養者のための施設「国立療養所多磨全生園」と「国立ハンセン病資料館」があります。本を通して全生園のことやハンセン病のことを知り、「いのちの大切さ」を考えるきっかけになることを願って、このブックリストをつくりました。
- ❖ ブックリストの作成にあたっては、国立ハンセン病資料館にご協力いただきました。前半の15冊は、ハンセン病資料館ホームページ「キッズコーナー もっと知りたい ～参考になる本を調べる～」より引用させていただき、後半の10冊は、市立図書館が紹介文を作成しました。この度の改訂では、新たに5冊の本を追加しました。
- ❖ 紹介した本は、市立図書館で借りられます。
- ❖ 表の右側には、ジャンルと市立図書館のラベルの記号を記してあります。
- ❖ 中央図書館・秋津図書館には、「ハンセン病を知る本」コーナーがあります。
- ❖ 『全生園とハンセン病を知る ブックリストと資料』（中学生～大人向け）も発行しています。あわせてご利用ください。
- ❖ 市立小中学校図書館には「いのちとこころの本」コーナーがあり、ハンセン病関連の本も置いてあります。平成17年4月、多磨全生園の平沢保治さんが、ハンセン病患者への偏見や差別解消のための長年の活動を評価され、第39回吉川英治文化賞を受賞されました。その賞金を「人権教育のために」と東村山市に寄付してくださったことをきっかけに、設置したものです。

しょうかい いちらん しよめい じゆん
紹介した本一覧（書名のあいうえお順）

	書名	ジャンル	ページ
1	あん	物語	8
2	いのちの森に暮らす <small>く</small> <small>はんせんびょうりょうようじよ</small> <small>たませんしやうえん</small> ハンセン病療養所 多磨全生園のいま	しゃしんしゆう 写真集	8
3	いのちの森を守る <small>さべつ</small> <small>ひらさわやすじ</small> ハンセン病の差別とたたかった平沢保治	でんき 伝記	4
4	「医療・保健衛生」につくした日本人 <small>いりやう</small> <small>ほけんえいせい</small> <small>めざせ！21</small> <small>せいぎ</small> <small>こくさいじん</small> めざせ！21世紀の国際人⑤	伝記	9
5	いろいろな人の人権を考える <small>じんけん</small> <small>わたしの</small> <small>じんけん</small> <small>みんなの</small> <small>じんけん</small> わたしの人権みんなの人権④	社会	9
6	<small>かみやみえこ</small> <small>あゆ</small> <small>いのち</small> <small>みちのり</small> 神谷美恵子 ハンセン病と歩んだ命の道程	伝記	7
7	カミングアウト	物語	4
8	かわいいポール	絵本	9
9	<small>かんせんしやう</small> <small>いがく</small> <small>れきし</small> <small>ふせ</small> 感染症と医学の歴史 知ろう！防ごう！インフルエンザ③	医学	10
10	きみ江さん <small>はんせんびやうを</small> <small>生きて</small> ハンセン病を生きて	伝記	8
11	心うたれるほんとうにあった話 4年生	伝記	6
12	子どものニュースウイークリー 2007年版	社会	6
13	知らなかったあなたへ <small>はんせんびやう</small> <small>そしやう</small> <small>までの</small> <small>長い</small> <small>旅</small> ハンセン病訴訟までの長い旅	社会	6
14	<small>じんるい</small> <small>れきし</small> <small>えきびやう</small> <small>たたか</small> <small>いの</small> <small>れきし</small> <small>シリーズ</small> <small>疫</small> <small>病</small> <small>の</small> <small>徹底</small> <small>研究</small> 人類の歴史は疫病との闘いの歴史 シリーズ疫病の徹底研究①	医学	10
15	すみれ	絵本	7
16	楽しく調べる東京の社会	社会	9
17	ツルとタケシ <small>おきなわ</small> <small>みやこじまへん</small> 沖縄いくさ物語 宮古島編	絵本	4
18	<small>りやうようじよ</small> <small>ぼう</small> ハンセン病の療養所をつくったお坊さん	伝記	4
19	ハンセン病を生きて <small>きみ</small> <small>たちに</small> <small>伝えたい</small> <small>こと</small> きみたちに伝えたいこと	社会	5
20	人として生きる権利の歴史 <small>けんり</small> <small>れきし</small> <small>日本の</small> <small>れきし</small> <small>めいじいしん</small> <small>げんだい</small> 日本の歴史 明治維新から現代④	社会	5
21	ぼくのおじさんは、ハンセン病 <small>ひらさわやすじ</small> —平沢保治物語—	伝記	8
22	星の子	絵本	5
23	リーかあさまのはなし <small>はんせんびやうの</small> <small>人</small> <small>たちと</small> <small>生きて</small> <small>草津</small> <small>の</small> <small>コン</small> <small>ウォール</small> <small>・</small> <small>リー</small> ハンセン病の人たちと生きて草津のコンウォール・リー	絵本	7
24	わすれられた命の詩 <small>いのち</small> <small>うた</small> <small>ハンセン</small> <small>病を</small> <small>生きて</small> ハンセン病を生きて	伝記	6
25	わたしの船長さん <small>せんちやう</small> わたしの船長さん	物語	5

	<p>ハンセン病の療養所をつくったお坊さん <small>りょうようじょ ぼう</small> トレヴァー・マーフィ／著 溝江 純／絵 87 ページ ルック 2006 年</p> <p>100年も前にハンセン病の療養所をつくった、綱脇龍妙(つなわき りゅうみょう)というお坊さん。彼の生涯<small>しやうがい</small>と思想をテーマに博士号<small>はくしごう</small>を取得したイギリス人の著者<small>ちやしや</small>が、その勇氣ある生き方を紹介する。</p>	<p>伝記 (ムラサキ)</p>
	<p>カミングアウト 島田 和子／作 尾崎 曜子／絵 158 ページ 新日本出版社 2000 年</p> <p>ハンセン病をのりこえ、カミングアウト(実名公表)した回復者<small>かいふくしや</small>と少女との出合い。近所にある「国立療養所多磨全生園」<small>こくりつりやうようじょ たまぜんしやうえん</small>について疑問を抱いた中学生の三奈が、ハンセン病について学んでいく過程<small>かてい えが</small>を描く。</p>	<p>物語 (ハイイロシ)</p>
	<p>いのちの森を守る <small>さべつ ひらさわやすし</small> ハンセン病の差別とたたかった平沢保治 木暮 正夫／著 高田 勲／絵 127 ページ 佼成出版社 2003 年</p> <p>ヒイラギのかきね<small>かこ</small>に囲まれた「多磨全生園」。ハンセン病の回復者たちが今もくらしています。差別を乗り越え、生きる力となったのは、いったい何なのでしょう？一人の回復者を通して「人権」について考えます。</p>	<p>伝記 (ムラサキ)</p>
	<p>ツルとタケシ <small>おきなわ みやこしまへん</small> 沖縄いくさ物語 宮古島編 儀間 比呂志／作・絵 37 ページ 清風堂書店 2005 年</p> <p>幼くしてハンセン病<small>え</small>を得た妹。はげしい戦禍<small>せんか</small>の中をけなげに支える兄。宮古南静園で展開するハンセン病患者たちの国による隔離<small>かくり</small>と根絶<small>こんぜつ</small>の悪法<small>あくほう</small>とのたたかい、明日を生きる源<small>みなもと</small>として命の再生をみようとした、哀しくもいとおしい物語。</p>	<p>絵本 (Eシロキマ)</p>

	<p>わたしの^{せんちょう}船長さん</p> <p>和田 英昭／作 小林 豊／絵 190 ページ 講談社 1998 年</p> <p>初夏の風がほおをなではじめた^{くらしき}倉敷の街。^{えつこ}悦子のトランペットも心地よい音色をかなでている。そんなある日、とつぜんおそってきた父の死。死の直前の父の^{なぞ}謎の行動は、思いもよらない方向、ほんの六十歩でわたれるほど小さな橋へとつづいていた。</p>	<p>物語 (ハイロワ)</p>
	<p>星の子</p> <p>オスカー・ワイルド／原作 ジェニファー・ウェストウッド／文 フィオナ・フレンチ／画 矢川 澄子／訳 ほるぷ出版 1981 年</p> <p>流れ星に^{みちび}導かれ、木こりに^{ひろ}拾われ育てられた星の子。星の子はやがて美しく成長しますが、その心は^{ざんげ}残忍でわがままでした。ある日、自分の母だという女があらわれますが、星の子は^{じやくん}邪見にして追い返します。悔やんだ星の子は母に^{あやま}謝るべくさまよい歩いた。</p>	<p>絵本 (Eシロフレ)</p>
	<p>ハンセン病を生きて きみたちに伝えたいこと</p> <p>伊波 敏男／著 220 ページ 岩波書店 (岩波ジュニア新書) 2007 年</p> <p>「差別や^{へんけん}偏見は、真実を知らないことから生まれる」ハンセン病回復者として若者たちと交流を重ねる中で、著者は真実を知ることの大切さを語ります。14歳で^{さい}発病、^{はつびょう}学びたい一心で^{いっしん}療養所を^{りょうようじょ}逃走、^{とうそう}根強く残る^ゆ偏見や差別に^{みずか}揺さぶられた日々。自らの体験を通してハンセン病問題とは何か、どう生きるかをともに考える一冊。</p>	<p>社会 (ティーンズ9 / アオ49)</p>
	<p>人として生きる^{けんり}権利の^{れきし}歴史</p> <p>日本の歴史 明治維新から現代④</p> <p>坂井俊樹／監修 福富 弘美／著 48 ページ ポプラ社 1999 年</p> <p>さまざまな理由で差別されてきた人達を中心にすえて、^{へんせん}基本的人権のあり方の変遷をたどり、^{よくあつ}人権を抑圧する社会のしくみなどについても、歴史的にとりあげる。</p>	<p>社会 (アカ31)</p>

	<p>わすれられた命の詩 <small>いのち うた</small> ハンセン病を生きて</p> <p>筈 雄二／著 246 ページ ポプラ社 1997 年</p> <p>7 歳の時ハンセン病と診断され、療養所に閉じ込められて成長した著者が世間の偏見と差別と闘いながら生きぬいてきた半生の記録。</p>	<p>伝記 (ムラサキ)</p>
	<p>子どものニュースウィークリー 2007 年版</p> <p>読売新聞社会部／編 190 ページ 中央公論新社 2007 年</p> <p>戦前、日本の植民地だった韓国・台湾につくられたハンセン病療養所の回復者が日本政府に「ハンセン病補償法」という法律にもとづいて補償金の支払いを訴えた裁判の判決が違ってでた。判決後の日本政府の対応はどうだったか。(34 ページに「ハンセン病補償法、台湾・韓国で違う判決」の項目あり)</p>	<p>社会 (アカ30)</p>
	<p>知らなかったあなたへ</p> <p>ハンセン病訴訟までの長い旅 <small>そしやう</small></p> <p>筈 雄二／著 142 ページ ポプラ社 2001 年</p> <p>ハンセン病回復者として様々な差別や偏見と闘いながら生き抜いた自らの半生をたどりながら“人間として生きる”ことの意味を鋭く問いかける。インタビューを通して生の声を届ける力作。</p>	<p>社会 (一般書 498.6 ユ)</p>
	<p>心うたれるほんとうにあった話 4年生</p> <p>川村 たかし／監修 142 ページ ポプラ社 2003 年</p> <p>いっしょうけんめい生きている小学生のみんなへ感動の読物のおくりもの。「愛」や「まごころ」の尊さを伝えるおはなしをまとめてあるドキュメンタリー。「宇宙飛行士毛利衛」ほかを収録。関係作品として「日本のナイチンゲール 井深八重」(野村一秋/著)が載っている。</p>	<p>伝記 (ムラサキ)</p>

	<p>かみや みえこ 神谷美恵子 ハンセン病と歩んだ命の道程^{みちのり}</p> <p>大谷 美和子／著 175 ページ くもん出版 2012 年</p> <p>自身を襲った病^{やまい}や、最愛の人を失うという深い苦し^{くる}みと喪失を体験しながら、精神科医として、そしてよ^よき友として、ハンセン病患者に寄りそい続けた神谷美恵子。人間の存在意識や「生きがい」を思索し続けた、神谷美恵子の心の軌跡^{きせき}をたどる。</p>	<p>伝記 (ムラサキ)</p>
	<p>リーかあさまのはなし ハンセン病の人たちと生きた草津のコンウォール・リー^{くまつ}</p> <p>中村 茂／文 小林 豊／絵 斎藤 千代／構成 32 ページ ポプラ社 2013 年</p> <p>今から約80年前、群馬県草津で、ハンセン病に苦しむ人達に寄り添^そい、尽くし、みなから「かあさま」と呼ばれて慕われたイギリス人宣教師、コンウォール・リーの活動と半生を描いた、心ゆさぶる感動の絵本。</p>	<p>絵本 (Eシロコハ)</p>
	<p>すみれ</p> <p>北條 民雄／文 山崎 克己／絵 トムズボックス／編 36 ページ 国立ハンセン病資料館 2015 年</p> <p>生誕100年の北條民雄が残した2編の童話のうち^{へん どうわ}の1点である「すみれ」は山奥でわびしく暮らす1人の老人と庭に咲く「すみれ」とのきめこまやかなふれあいを描いた人情味あふれる作品となっている。</p>	<p>絵本 (Eシロヤマ)</p>



東村山市立図書館作成



	<p>あん</p> <p>ドリアン 助川／著 259 ページ ポプラ社 (ポプラ文庫) 2015 年</p> <p>どら焼きやの店長、千太郎のところに指のまがったおばあさん、徳江が雇ってほしいとやってくる。徳江がつくる“あん”は、おどろくほどおいしかった。千太郎は、とまどいながらも徳江を雇うことにしたが・・・。</p> <p>東村山市が舞台となり、2015年に映画化された。</p>	<p>物語 (ハイロト)</p>
	<p>ぼくのおじさんは、ハンセン病 —ひらさわやすし 平沢保治物語—</p> <p>船橋 秀彦・平沢 保治／著 たむら ひろこ／絵 219 ページ 全国障害者問題研究会茨城支部出版 2002 年 (2015 年刊の完結編もあり)</p> <p>保治おじさんが東村山の全生園<small>ぜんしょうえん</small>にいることを知ったぼくとおねえちゃん、夏休みに会いに行った。おじさんは「よくきてくれた」と喜んで、ハンセン病のことや今までの暮らしについて話してくれた。ハンセン病回復者、平沢保治さんをモデルにして書かれた物語。</p>	<p>伝記 (ムラサキ)</p>
	<p>きみ江さん ハンセン病を生きて</p> <p>片野田 斉／著 205 ページ 偕成社 2015 年</p> <p>ハンセン病にかかったきみ江さんは、21才の時、家族と離れ、「もうこの家には二度と帰れない」と心に決めて、静岡から全生園<small>ぜんしょうえん</small>にやってきました。社会で「ふつうの生活」をすることを夢に、いつも前向きにがんばってきたきみ江さん。作者は東村山出身の報道写真家、片野田さんです。</p>	<p>伝記 (ムラサキ)</p>
	<p>いのちの森に暮らす ハンセン病療養所 多磨全生園のいま</p> <p>三島 悟／編 宇井 眞紀子・広瀬 敦司／写真 松澤 政昭／デザイン 175 ページ 東村山市・多磨全生園入所者自治会 2015 年</p> <p>緑がいっぱいで自然豊かな全生園の様子と、そこにくらす人たちの思いが生き生きとした写真で伝わってきます。東村山に住むわたしたち一人ひとりが、この場所を「人権の森」として受けついでいくことの大切さを感じてください。</p>	<p>写真集 (一般書) 498.6 イ</p>

	<p>いりょう ほけん えいせい 「医療・保健衛生」につくした日本人 めざせ! 21世紀の国際人⑤ 畠山 哲明/監修 47 ページ くもん出版 2002 年</p> <p>世界で活躍する日本人のお医者さんや獣医さんを紹介した本。28・29 ページに、パキスタン、アフガニスタンでハンセン病の治療をした医師、中村さんのことがのっています。また、30・31 ページに、「ハンセン病について考えよう」の記事があり、ハンセン病についてのミニ知識がわかります。</p>	<p>伝 記 (ムラサキ)</p>
	<p>かわいいポール 北條民雄/文 おぼまこと/絵 1冊 (ページ付なし) 国立ハンセン病資料館 2016 年</p> <p>ミコちゃんはポールという名前のかわいいこいぬを飼っています。ポールは、いぬごろしにつかまり、連れて行かれそうになったところをミコちゃんに助けられたのです。『いのちの初夜』の作者北條民雄が残した童話が絵本になりました。</p>	<p>絵 本 (E シロ オホ)</p>
	<p>楽しく調べる 東京の社会 東京都小学校社会科研究会/編著 167 ページ 日本標準 2007 年</p> <p>東京の自然や文化、政治について学べる調べ学習用の参考図書。150・151 ページに、特集①「人権問題について考える」として、国立療養所多摩全生園のことがのっています。全生園の基礎知識、ハンセン病のこと、昔のまちがった考え方などがまとめられています。*2007 年当時の情報のため、「国立ハンセン病資料館」が旧名で表示されています。</p>	<p>社 会 (ア カ 30)</p>
	<p>いろいろな人の人権を考える わたしの人権 みんなの人権④ 荒牧重人/監修 石井小夜子/編著 46 ページ ポプラ社 2004 年</p> <p>女性や高齢者、病気や障がいなど様々な立場の人の人権について考える本。22・23 ページ「公害や病気とのたたかいのなかで」の項に「偏見や差別をなくすことが公害や病気とたたかう人びとののぞみ」としてハンセン病についての説明がコンパクトにまとめられています。</p>	<p>社 会 (ア カ 31)</p>

	<p>かんせんしょう いがく れきし 感染症と医学の歴史 知ろう! 防ごう! インフルエンザ③ 田代眞人／監修 岡田晴恵／監修 39 ページ 岩崎書店 2009 年</p> <p>じんるい 人類と感染症とのたたかひの歴史と、世界と日本の感染症の実情やそのたいさくについて書かれた本。9 ページの「歴史の中のハンセン病」では、中世のヨーロッパでハンセン病が広がった原因や、その後のちりょうほうについてまとめられています。</p>	<p>医学 (アオ49)</p>
	<p>じんるい れきし えきびょう たたか 人類の歴史は疫病との闘いの歴史 疫病の徹底研究① こどもくらぶ／編集 31 ページ 講談社 2017 年</p> <p>じんるい 人類をおびやかしてきた最大の敵、疫病の歴史について書かれた本。12・13 ページ「差別を受けたハンセン病」のこうに、「悪魔の病気」としておそれられ、かくり隔離された時代や、現代社会にまで続いていた差別のことがのっています。</p>	<p>医学 (アオ49)</p>

むずかしい本もあるので、わからない時には、まわりの大人の人にそうだんしてください。

百科事典にも説明がのっています。さくいんを引いて調べてみてください。



ブックリスト **本で知ろう！ハンセン病** <小中学生～>

平成28年（2016年）1月 発行

平成30年（2018年）1月 改訂

協力：国立ハンセン病資料館

編集・発行：東村山市立図書館

〒189-8501 東京都東村山市本町 1-1-10

TEL 042-394-2900 FAX 042-394-4107

ホームページ <http://www.lib.city.higashimurayama.tokyo.jp>